

編集後記

2018年6月／7月はサッカーワールドカップで世界中が盛り上がっています。参加32か国中FIFAランキング最下位70位のロシアが2試合8点の連勝でグループリーグ突破をほぼ確実にし、同じく61位とランキング下位に低迷する日本が、初戦のコロンビア戦で開始早々、相手のレッドカード一発退場による11対10の優位も生かして初戦勝利を飾りました。一方ランキング1位のドイツは初戦負け、2位のブラジルも引き分けという波乱の幕開けです。この号が届く頃には優勝国が決まっていることと思いますが、日本代表のグループリーグ突破、上位進出の活躍を期待しています。ところでNHKの映像技術を駆使した解説では、世界トッププレイヤーの身体能力や技術を詳しく分析し、膨大な過去の試合データの解析で日本の勝利のカギを探る試みが紹介されていましたが、画像解析とデータ解析が重要という点ではスポーツ解説と医学研究で相通じるところがあるように感じます。

さて今月号の特集は強膜炎です。頻度ではそれほど高くない疾患で、最近の眼科画像診断技術の進歩の恩恵からは、遠のいている分野ですが、昔ながらの細隙灯顕微鏡検査による注意深い観察と培養検査、血液検査の重要性が今なお求められる分野で、日常診療においても鑑別診断として注意の必要な疾患です。

綜説では最近、学会でもよく耳にする pachychoroid (= 厚い脈絡膜) 関連疾患が取りあげられています。Pachychoroid に脈絡膜新生血管 CNV を伴う PNV が中心性漿液性網脈絡膜症 CSC やボリープ状脈絡膜血管症 PCV と同一疾患スペクトラムで考えられるようになってきたようです。滲出型加齢黄斑変性 AMD に関しては21世紀初め、PCV と典型 AMD の病態の違いに関する論争が盛んでしたが、両者の違いにこの厚い脈絡膜が関係していた可能性があるのではないかと感じます。また PCV は狭義滲出型 AMD と異なり、前駆病変であるドルーゼンを欠くことが特徴であると理解されていた時期もありますが、最近 pachychoroid-associated drusen という病態が学会で紹介されるようになってきているようです。

もうひとつの綜説では未熟児網膜症に対する治療の最新の考え方と未解決の問題点が紹介されています。長らくゴールドスタンダードと考えられてきたレーザー光凝固治療の弱点をカバーする抗 VEGF 剤硝子体注射の治療効果に期待しながらも、今後解決すべき点がわかりやすくまとめられ解説されています。

本号の内容が皆さま方のお役に立つことを期待しています。

(飯島裕幸・記)

編集：飯島裕幸・富田剛司・坪田一男・後藤 浩・雑賀司珠也・門之園一明・三村 治
編集顧問：所 敬・小口芳久・白井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治

「眼 科」 第60巻 第7号7月号

2018年7月5日発行（毎月1回5日発行）
定価（本体2,800円＋税）

年間講読料金 定価（本体42,100円＋税）

〔年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

Tel 03 (3811) 7165〔編集室直通〕

Tel 03 (3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）貸与権、二次的著作物への利用に関する原作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-3513-6969、FAX：03-3513-6979、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。